

「朝比奈手摘み本玉露」淹れ方グランプリ

【競技要領】

I 対戦方法

- ① 1回戦及び2回戦（準決勝）は1班5名で対戦し、1回戦は各班1人勝ち抜き方法とし、2回戦（準決勝）は各ブロック上位2名が決勝に進みます。
- ② 1回戦「1戦目」は、Aブロック（1～5班）の計25名が、最初に競技を開始します。「2戦目」は、Bブロック（6～10班）の計25名が競技を行います。
- ③ 2回戦（準決勝）はA・Bブロックの各班から勝ち抜いた選手（各ブロック5名）計10名が一斉に競技を行います。
- ④ 決勝はA・Bの各ブロックから1位・2位で勝ち抜いた選手計4名が、決勝席にて競技を行います。

II 審査基準

- ① 1回戦及び2回戦（準決勝）の美味しさの基準は、選手の感性に委ね、基準等は設けません。美味しいと思う玉露を選んでください。
- ② 決勝戦は、専門の審査員が水色、香気、滋味の各項目で茶葉の品質そのままに抽出できたかを総合的に審査します。（水色は玉露らしい色味で、香気は覆香が高く、滋味は雑味がなく旨味が濃厚であること）

III 審査方法

- ① 1回戦はセルフジャッジとします。1回戦は各班の選手全員が、別の班の選手の淹れた玉露を審査します。審査方法は、最も美味しかったと思う1位から5位までを決定してください。順位は1位の札の獲得数の最も多かった方を1位とします。1位の札の獲得数が同数の場合は、その中で2位の札の獲得数の多い方を1位とします。
- ② 2回戦（準決勝）もセルフジャッジとします。1回戦と同様の審査方法で審査します。
- ③ 決勝戦は事務局が指定した専門の審査員5名が、決勝進出者4名の淹れた玉露を審査し、最も美味しかったと思う選手1位から4位までを決定します。
- ④ 決勝は、1位を10点、2位を7点、3位を4点、4位を1点とし、合計点により順位を決します。同点の場合は審査員の協議により決定します。

IV 玉露の淹れ方基準

- ① 玉露は、最高級の藤枝市岡部町朝比奈産の手摘み本玉露を使用します。
- ② 時間は競技開始から終了までの10分とします。競技終了までに、6名分（審査用と選手本人用の試飲分を含む）を淹れていただきます。経過時間は隨時、進行係が発表します。（競技開始、5分前、3分前、1分前、30秒前、競技終了）
- ③ 各テーブルにある玉露をご自由にお使い下さい。
- ④ 各テーブルにある湯呑みに6名分の玉露を淹れてください。なお、玉露を淹れる湯量については、量が少なすぎると審査が出来ない場合がありますので、少なくとも湯呑みの半分以上は淹れてください。
- ⑤ お湯については、各テーブルにあるポットのお湯を使用してください。

V 茶 器

- ① 急須、湯さましは、原則各自で準備してください。準備できない方は、急須と湯冷ましを事務局より当日貸し出します。（貸出は、事前申請が必要です。）
- ② 湯呑みは事務局が準備したものを使用してください。
その他、温度計や計量カップ、さじなどのどのような器具を使用されてもかまいません。（ただし氷や冷却器具等を使用した湯冷ましは認めておりません。）
- ③ 玉露を淹れる（飲む）ためのお湯と茶葉は、事務局が準備したものを使用してください。

競技要領については、大会当日に変更する場合もございますので、ご了解下さいますようよろしくお願いします。